

せおと

岡崎市立常磐小学校

令和三年十二月二十日

サンタクロースへの願うじゆ

数日前から代車に乗っています。実は、十月中旬に新車を購入することにしたのですが、車の生産が進んでいないので、契約した車が手に入るのは、年明けになりそうとのこと。けれども、今まで乗っていた車は、十二月十二日で車検が切れてしまい、それ以上は乗ることができなくなりました。そこで、車の販売店が代わりの車を貸し出してくれたというわけです。新車がやってくる日は、まだ確定していません。

もしサンタクロースが、大人の望む物もかなえてくれるなら、どうか自動車工場に車の部品を！ と言いたいところです。このコロナ禍で、海外の部品工場が稼働せず、自動車の生産が滞っているというニュースを聞いたことがある人はいるでしょう。でも、新たなコロナ株のせいで、海外渡航制限が行われている現状では、サンタクロース自体、日本にはやってこられないかもしれません。皆さんはそんなふう想像をしたことはありませんか。

クリスマスのプレゼントについて、昇降口で子供と話していたら、一人の子が私に体を近づけて、ささやくように「校長先生、サンタが来るんじゃないよ、親がプレゼントを置いてくれるんだ

よ」と教えてくれました。思わず「あらまあ、そうなの」と答えながら、その動作がほほえましく、サンタクロースを信じていてもいなくても、日本のクリスマスは誰もが楽しむことのできる行事なのだなと感じました。なぜなら、私にささやいてくれた子は、ちよっぴり大人になっていて、でもちよっぴりサンタさんへの願いごともしているわけですから。大人も子供もサンタクロースを通して、夢を形にしようとしているわけです。

さて、二学期の始業式が延期になった時は、どうなるかと心配しましたが、様々な活動を学年でも全校でも行うことができました。緊急事態宣言下での部活動と大会の実施、学芸会開催、持久走大会にふれあいデーの常小オリンピック。一年生は幼保小交流会、二年生は町探検、三年生はリコーダーに取り組み始め、四年生は理科でミニ気球を飛ばす実験をしました。はなはな組も、栽培したサツマイモでおいしいケーキを作りました。五年生は台湾の小学校とオンライン交流し、六年生は修学旅行に行き、宿泊体験をしました。二学期にできたことはいくつもあります。

子供たちの頑張りや形になって表れた二学期は、あつという間でしたが、たくさんさんの笑顔と優しさに触れることができました。だから、どうかサンタクロースさん、常磐っ子全員に、幸せな冬休みを届けてください。・・・そして、冬休み明けでもいので、できれば、私に、サンタクロースではなく新車カローラクロスがやってきますように。

ハッピーも、ドイツのクリスマスマーケットからやってきたんだ。

ヨーロッパも今はまだ自粛生活をしなければならぬようだ。

みんな、元気にすこせるように、よく寝て、しっかり食べて、

毎日を動かそう。楽なことより、楽しむことを心がけよう。

